

中央区立
郷土天文館
第18回特別展

区制施行70周年記念 中央区のあゆみ

—戦後の発展とまちの変化—

入場
無料



平成29年 **10**月**21**日 **▶** **12**月**10**日

中央区立郷土天文館(タイムドーム明石)特別展示室



開館時間

火～金曜日：午前10時～午後7時

土・日曜日・祝日：午前10時～午後5時(最終入場は閉館の30分前)

休館日

月曜日

東京都中央区明石町12番1号 中央区保健所等複合施設6階 TEL.03(3546)5537

区制施行70周年記念 中央区のあゆみ

— 戦後の発展とまちの変化 —



佃の渡し 昭和30年代



晴海埠頭の荷さばき 昭和37年(1962)頃
(京橋図書館蔵)

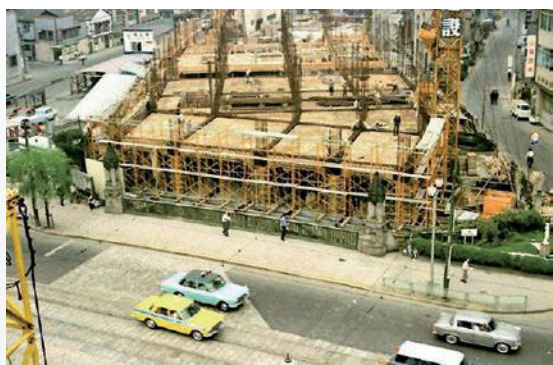


東京湾大華火祭 平成27年(2015) (中央区広報課提供)

中 中央区は昭和22年(1947)3月15日に誕生して、今年で区制施行70周年になります。誕生の年は終戦から2年が経ち、廃墟の中から復興に向けて立ち上がっていく年でした。日本はまだまだ連合国の占領下であり、中央区内の多くの施設が接収されたままでした。しかし日本の主権回復後、経済は復興し、やがて高度経済成長期を迎えます。昭和20年代末から30年代には次々と高層ビルが建設され、昭和39年(1964)の第18回オリンピック東京大会開催を契機に、新幹線・高速道路網が整備されました。さらに晴海地区では晴海埠頭を中心に港湾施設が整備され、開発が進みました。また区内において地下鉄が相次いで開通する一方、河川の埋め立てによって水上運輸・交通は衰微するなど、まちのインフラ・景観は大きく変化しました。

近年、日本橋や銀座を中心に再開発が行われ、観光客の増加により国際化が進んでいます。また月島・晴海は工場・港湾地区から、商業・住宅地区へと変貌しつつあります。

今回の展示では、区制施行70周年を記念し、写真資料を中心に中央区の発展と変化の様子をたどります。まちの大きな変化の要因となった出来事や背景を探り、中央区のあゆみを振り返ります。



高速道路建設による京橋川の埋め立て 昭和40年(1965) (京橋図書館蔵)



廃止直前の都電 昭和46年(1971) (中央区広報課提供)



中央区、中央区文化・国際交流振興協会共催
日時：10月29日(日)午前9時～午後5時
※イベントによって開催時間が異なります。
区内全域を無料のバスや船がめぐります。
さまざまな文化イベントをお楽しみください。
詳細はホームページをご覧ください。
<http://marugoto-chuo.jp/>
問い合わせ：文化・生涯学習課文化振興係
TEL：03(3546)5345

関連講演会

「戦後東京の復興と中央区」

11月4日(土)午後1時30分～3時30分

場所：教育センター視聴覚ホール

定員：当日受付 先着100名

講師：初田香成(東京大学大学院工学系研究科建築学専攻助教)

中央区民カレッジ オープンカレッジ・シンポジウム

「日本橋・京橋・月島地域の発展の歴史とまちづくり」

11月18日(土)予定 午後1時30分～4時

場所：教育センター視聴覚ホール(電話による事前申込)

問合せ：文化・生涯学習課生涯学習係 電話03-3546-5524

中央区立郷土天文館(タイムドーム明石)

東京都中央区明石町12番1号 中央区保健所等複合施設6階 TEL 03(3546)5537



アクセス 地下鉄有楽町線 新富町駅(④⑥出口)徒歩10分
地下鉄日比谷線 築地駅(③④出口)徒歩7分